

## 第5回天草市総合計画策定審議会議事録

- 1 開催日時：平成23年1月28日（金） 午後3時00分開会
- 2 場 所：天草コミュニティ防災センター
- 3 出席者：  
委 員 上野会長、中川副会長、亀子委員、木下委員、鳥山委員、中島委員、  
野上委員、浜委員、平塚委員、福本委員、益田委員  
（欠席：島田委員、春木委員、万田委員、）  
天草市 金子企画部長、塩田企画課長、小川企画調整係長、その他関係各課
- 4 提出資料： 第1次天草市総合計画 後期基本計画（案）  
後期基本計画書 審議会意見等一覧表  
後期基本計画書 パブリック・コメント意見一覧表

### 5 内 容

#### 〔1〕開会

#### 〔2〕会長あいさつ

（会長）

パブリック・コメントも終わり、後期基本計画もだいたい形が見えてきた。順調に行けば、本日をもって審議を終了し、答申を固めることとなる。ご協力をよろしく願いたい。

#### 〔3〕議題

（議事録について）

前回審議会の議事録（概要版）について、事務局案のとおり決定し、ホームページ上で公開することとされた。

### 議題1 計画書（案）およびパブリック・コメントの結果について

（会長）

今回の資料は、パブリック・コメント前に配布した資料から、審議会の意見を反映したり、変更した部分をわかるかたちで整理している。事務局より説明をお願いしたい。

事務局より、配布資料「後期基本計画（案）」および「後期基本計画書 審議会意見等一覧表」の概要及び変更箇所について説明。

（会長）

それでは資料 ・ について、審議会で挙げられた意見が計画書に反映しているもの

と、できなかったものがあるようなので、これについて委員の皆様から意見を頂いていきたい。まず私から、資料の14番で、商工観光が教育のことまで記載するのが適当でないのはわかるが、観光産業でまちづくりを行うならばそれにふさわしい人材が必要で、例えば学園大には観光関係の学部があるのでそこに対して働きかけを行うなどのやり方を検討してほしいという事ではないか？

(委員)

そのとおりで、交流人口の拡大を図るためには若いうちからの人材育成が必要であり、それを商工観光でやれということではなく、人材育成について全体で取り組んでほしいということが言いたかった。

(委員)

15年ほど前に中学生をヨーロッパに研修旅行させたという話を聞いたが、そのような人材育成の取り組みの中でその後のフォローはできているのか、疑問である。

(委員)

「平成の少年使節団」でポルトガルに派遣した。大学生になったときにミーティングを開いたが、その後は何もフォローできていない。長期的な視野に立って交流事業を行う事が課題だと思う。

(委員)

資料の17番フィルムコミッションについて、以前は2市13町でやっていたが、現段階では観光協会だけで負担している。天草島としてPRしていくのか、島原天草観光圏として実施していくか、今後議論していく必要があるのではないか。

(会長)

外から見れば、天草は一つである。熊本都市圏をPRする場合、熊本市で実施している。一番大きなところが取り組みを始めるというのは通常のことではあると考える。

(事務局《企画課》)

負担のあり方については、市や観光関連団体と今後協議していくべきであるとする。

(副会長)

資料2番財政指標について、平成21年度までは健全な指標が出てきているが、それ以降の財政運営が大変になってくるのが予想されるので、しっかりした予測をしてもらいたい。また、3番の人事評価について、評価は行われているが、それを活かした組織づくり・人事が行われることが重要だと思う。

(委員)

資料19番病児・病後児保育について、記載内容の確認をしたい。また、21番の奨学金制度についてもチラシを置くだけでなく、周知徹底をお願いしたい。

(事務局《子育て支援課》)

「0箇所2箇所」という指標について、現在でも私立において病児保育が1箇所、病後児保育が5箇所取り組んでいるが、入所園児のみの対象となっている。現在保育所の民営化も進めているため、誰でも利用できる事業実施を目指している。

(委員)

奨学金制度の周知については学年懇談会や学級だより、学級担任を通じた周知を図っており、今後も周知徹底に取り組んでいきたいと考えている。

(会長)

12番の地産地消の取り組みについて、県職員である栄養士は、カロリーや栄養素の計算で献立を作り、地元で取れる産品にはさほど興味がない。これを変えるには栄養士と地元の生産者が会う機会をつくる必要がある。面倒ではあるが、地産地消の担当者、教育委員会と連携を取って取り組む必要があると思われる。

(委員)

昨年、地産地消協議会というものを立ち上げた。漁協、農協、管理栄養士、観光行政関係者など、幅広い分野から参加して協議しているが、まず五和地域で学校給食での取り組みモデルを開始しており、計画書の文言としてはさらっと書いてあるが取り組みの中で成果が上がるように頑張っていかなければならない。

(委員)

学校給食の納入業者は入札で決まる。栄養士の計算と業者の納入もマッチしていなければせっかくの連携の取り組みも実現は難しい。栄養士・納入業者・生産者の話し合いの場が必要だと思われる。

(会長)

資料 については、以上でよろしいか。

一同、異議なし

では次に、パブリック・コメントの結果について事務局より説明をお願いしたい。

事務局より、配布資料 「後期基本計画パブリック・コメント一覧表」について説明。

(会長)

審議会よりパブリック・コメントを実施して、意見に対して回答することになっているため、事務局の対応案に対しての審議会意見を付す必要がある。各意見について委員の皆様意見を伺いたい。

7つの意見のうち、1～5番までは事務局案のと通りの対応で了承。

(委員)

6番の経済波及効果については、確かに測定方法が様々あり、他の指標を代替として効果を計るという事務局案が良いと思うが、市として何らかの基準は設けておいた方がいいと思う。

(委員)

7番の教員の質的向上については、市の教育委員会・教育事務所主催の学校訪問により授業改善の研修を深めているので、それについても記入を検討されると良いと思う。

(会長)

パブリック・コメントでは観光産業に関する意見が多かったが、天草市より熊本大学に派遣されている職員で観光産業に関するアンケート調査を実施しているので、ここで

結果についての報告をお願いしたいと思う。

大学より、調査結果について資料配布のうえ報告

(会長)

報告の中で域内調達率の高い部門へ投資が必要という話があったが、簡単に言えば天草の人間が天草の物を買って、天草で遊んで、お金を何度も回す仕組みを作らなければならないということである。

最後に、皆様から計画の全体としての意見を伺って、審議会のまとめとしたい。

(委員)

農業従事者の担い手について、課題は 新規就農者、 子弟（後継ぎ）、 従事者の高齢化という3点がある。それぞれ 開業資金不足、 価格保証の必要性、 100万販売農家育成の必要性といった問題を抱えており、それらについて対策を考えなければならないと思う。

(会長)

今まで議論してきた問題をうまく整理していただいたと思う。事務局で対応できる部分があるか？

(事務局《企画課》)

後継者問題について、新規就農者に対する支援も新年度以降考えているものもあるので、計画書に対応できる部分については書き加えていきたいと考えている。

(委員)

米（水田）問題は水問題でもある。すなわち環境問題として認識される必要がある。

(会長)

例えば熊本市では地下水涵養のため、菊陽町等の水田に水を張ってもらう事業を実施している。天草地域の水田にどれくらいの水源涵養効果があるか、研究してみる必要はあるのではないかと。

(委員)

連携による地場産業の推進について、農協で加工品開発をしても非常に難しい。商工や団体と連携する場が必要であると考えますが、同時に市場での「天草」の知名度が低いとも感じている。観光関連団体との戦略的連携が必要ではないかと思う。

(事務局《企画課》)

市でも6次産業化の促進による地場産業支援を重点項目としており、産業間連携の協議会設置を念頭においているため、そのような記述を検討したい。

(委員)

商店街再生と書いてあるが、人口減少のなかで昔の商店街には戻れないかもしれない。再編も頭に入れながら具体的な取り組みについて、市や関係団体との協議・検討が必要であると考えます。

(委員)

水産業の振興の課題にイルカの食害が挙げられているが、解決方法が記載されていな

い。また、市の管理漁港のうち、使用料を取っている漁港と取っていない漁港がある。取り扱いを無料化へ統一するように検討してほしい。

(会長)

イルカの食害については、対策として観光関係団体のところで「協議の場の設置」についての記載がされているが、水産業の部分にも同様の内容について記載してはどうか。

(委員)

観光行政・水産行政と連携する必要があるので、水産業の対策としても記載していいのではないかと思う。

(副会長)

平成26年度まで天草市として目指す指標を記載すべきではないか。また、先ほどの大学から観光関連の発表があったが、阿蘇のように1,800万人の入込客があっても地域は寂れてきている。これからは、地域住民が主体となって地域づくりを考え、行政がどう支援していくかというスタンスで考えなければならないと思う。

(会長)

少なくとも人口減少していくことは間違いない。それを踏まえた上で、どのように豊かさを追求していくかという文言を入れて、覚悟を示すべきではないだろうか。検討をお願いしたい。

(委員)

副会長の話にもあったが、総合計画の指標としては人口が一番ふさわしいのではないか。人口減少が最も大きな問題であると考え。文言の中には「高齢化社会」と書いてあるが、天草市には「超高齢社会」が来ている。産業も福祉も、これからこの問題にぶつかっていくと思う。

(会長)

事務局に確認したいが、平成22年度の予算総額は本当に500億で収まっているのか？

(事務局《企画課》)

12月現在で作成しているためこのような数字になっている。成案までには最終的な数字をお出しする。現在よりは増額になるとは考えている。

(副会長)

行財政改革大綱との整合性もしっかり取ってほしい。

(委員)

経営能力強化の組織の再編の部分について、効率化という視点からだけでなく、政策に応じた見直しが必要ではないかと思う。財政運営の健全化の部分では、自分が知る限り観光分野で重複していると思われる金が7億ほどあった。タテ割り行政の弊害だと思われる。このあたりを十分に協議してほしい。

(委員)

東京都が都の漁協に対して、潮汐による発電施設の設置に補助金をつける検討をしているという話を聞いた。漁協の新エネルギービジネスへ投資するわけだが、新エネルギー

一と既存産業を複合して考えている例だと思う。天草市でもそのような視点で取り組んで欲しい。また、大規模な投資を必要とする事業については慎重な検討をお願いしたい。

(委員)

最後に一つだけ、子育て支援の充実の中で、若い母親に社会参画を促す考えがあるのであれば、授乳室の設置を検討するなど、保育環境の整備が必要なのではないかと思う。

(会長)

それでは、時間も来ているのでこれで終わりということにして、本日も様々な意見が出たが、事務局には担当部署との調整をお願いしたい。時間の都合上委員の皆様にも再度確認いただくことは難しいので、答申に向けた事務局との最後の折衝は私に一任していただけるか？

異議なく了承。

それでは、次の議題について事務局より説明をお願いしたい。

## 議題2 答申について

事務局より、答申の日程について説明。

(会長)

答申では、市長にこの計画書をお渡しして審議会の様子はお伝えするが、委員の皆様もお時間の都合がよければ、市長に直接考えを伝える機会でもあるのでご出席いただきたいと思う。詳細については、事務局より通知されると思うのでよろしくをお願いしたい。

その他、事務局より連絡事項があるか？

## 議題3 その他

事務局より、答申後の後期基本計画策定スケジュールについて説明。

〔4〕閉会

(会長)

それでは以上をもって、審議会の全ての審議は終了となる。委員の皆様には長い期間、大変お世話になりました。

午後5時00分、閉会。